



集団ぐるみの行為が犯罪同然であったとしても、その集団の構成員個々が悪意を持たない確信犯であることは珍しいことではないはず。団体名を隠し洗脳やマインドコントロールで追いつめる組織体質にこそ悪意を覚えます。

☆今月の一言【沙弥から長老にはなれぬ】物事の遂行には順序というものがあって、段階を踏まなければ進めないというたとえ。目標の達成には、今やるべきことや目の前の問題を一つ一つ地道に乗り越えていくことが大切であるということです。

## 建物いろいろウォッチング

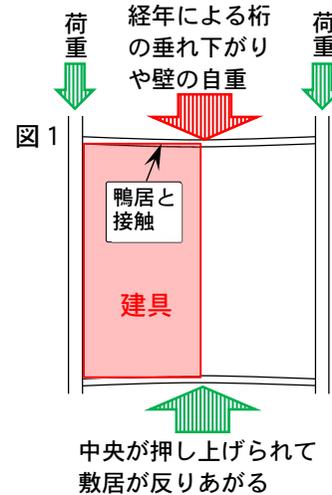
### 引き戸のトラブルとその要因

地震や台風などとの遭遇、部材の特性による変形や劣化、地盤沈下など、建物の変形や歪の要因は数多。修理が極めて困難な場合もある中、不具合の要因を把握することは改善へ向けての早道になるでしょう。

家の中の往来で避けて通れないのが出入り口のドアや引戸等。  
ひとたび開け閉めがしにくくなると、不便を強いられることは必至。  
引き戸の動きが悪くなるのはいかなる理由でしょう。

#### ケース1. 鴨居や敷居の垂れ下がりや反り上り (図1)

鴨居の垂れ下がりや敷居の反り上りは経年により桁がたわむことが主な原因。また、和室では真壁という構造上、垂れ壁の自重が直接鴨居に掛かるため洋室に比べ例多数 (赤矢印)。敷居の反り上りは柱に荷重が掛かることで、両端が下がり中央付近が押し上げられることが主な原因 (緑矢印)。近年の住宅ではべた基礎が一般化しており均一に荷重を受けるため、発生件数は少なそうです。鴨居・敷居共に使用材の性質によって起こる場合もあります。柱間が長い程曲がりやすいとも言えます。



#### ケース2. 家の傾きによるもの (図2)

地震や強風などの被災またはその反復と経年が原因。建物にねじれや傾きが顕著になると、鴨居と敷居の間隔が狭まり建具を圧迫。耐震性の高い近年の住宅では稀ですが、主に貫により倒壊を免れる構造の旧家ではよく見られます。



#### ケース3. 敷居や鴨居が横に曲がった状態 (図3)

敷居や鴨居に曲がり易い木材の使用が原因。例えば、木目が通っていない、大きい節がある、若木であるなど。壁下地等の影響も多少あり。



敷居または鴨居が横に曲がっていると真つすな建具に対し溝が曲がっているため両端や中央が擦れて動かない。

修理方法として敷居または鴨居を削るなどの応急的処置が多数ですが、著しく反りや狂いが生じた場合は、基礎や建物本体の大改修を要する場合があります。ケース3では溝を削って広げること改善できますが、建具と溝の間に隙間ができガタが生じることも…。稀に建具の反りによる場合もあります。

## だんらんばたけ



### 高校野球の醍醐味とプレー環境

プロ野球には関心がなくとも、高校野球は老若男女幅広い世代で注目されています。それは何故なのか。純粋で一途なプレーの一つ一つの中、予想もつかない結果が待ち受けていること、これが大衆を惹きつける魅力なのかもしれません。

高校野球の醍醐味と言えば、高校生ゆえのハプニングと一戦にかける情熱と意気込み。地元や出身校の試合ともなれば、他の試合以上に選手へのエールも熱くなり観戦に力が入ります。

一昨年は大会中止、昨年は大幅な観客制限と、全国制覇を目指す球児にとっては不遇のここ2年。今年の甲子園大会を待ち望み、開催決定に球児や関係者はどれ程歓喜したことでしょう。地区予選を通じて繰り出される様々なドラマに期待を膨らませている観戦者も多いのではないのでしょうか。

猛暑により大会日程や会場、投手の球数制限・連投の是非など、選手の健康を考慮したルール作りが検討されています。将来の有望株が可能な限り選手生命を保つ意味で重要なことと考えますが、賛否両論や難問を抱えているのも事実。やはり聖地である甲子園でプレーしたい、全力で投げ切りたいなど、一戦負けたら終わりという条件下での球児の願いあり。観戦側も、制約しすぎると試合の白熱感を損ねるなどの声も聞きます。プロや社会人に進む選手が何人いるのかを考えると看過できない意見でしょう。今年の千葉県予選で82対0という大差の試合があり、ネット記事で監督は没収試合も考えたそうですが、選手たちの意思はやり切りたい、楽しかった、100点取られるかと思っただけ、傍から見る心配をよそに満足感溢れる様子で、精一杯プレー出来る環境こそが球児にとっての最高の舞台であると感じます。

公立と私立校の選手獲得における格差が問題視されることがありながらも、107年という歴史の中で、本年遂に仙台育英高校が白河の関越えを果たし東北に栄冠をもたらしたことは実に微笑ましい快挙で、全国制覇という言葉の重さが伝わります。勝者も敗者も涙する高校野球。夏の甲子園大会終了と共に秋という季節感を覚えることも、風物詩の味わいを楽しめる一つでしょう。



甲子園球場一塁側アルプス席より。恐れ入りますが、写真はプロの試合です。阪神 VS 広島戦

## ざつがくの庭

プロでさえエラーするのだからアマチュアは珍プレーの宝庫！？真剣な競技者をよそに、観戦者はむしろ奇想天外プレー続出を楽しみにしているのかも…(笑)  
「弘法にも筆の誤り」ということわざがありますが、いったい何を誤ったのか。弘法とはもちろん平安時代の真言宗開祖「空海」のことで尊称は「弘法大師」。空海は書の達人と知られており、当時の天皇から京都の応天門の額を書くことを命じられました。その際「応」の「心」の点の一つ書き忘れてしまったことが由来で、その後門に飾られた額に目掛けて筆を投げ点を足したという逸話もあります。

## 読めますか？

1. 宣う
2. 開かる
3. 匄 (う)
4. 翫
5. 夙夜

答え 1. のたまう 2. はだかる 3. はらばう 4. さやけし 5. しゅくや

次号をお楽しみに